

活動タイトル	高齢児・施設退所者向け拠点型学習支援サービスの提供事業	団体名	認定NPO法人3keys				
<b>1年間の活動 (アウトプット)の目 標 (事業全体)</b>	① 定時制高校などへ在学中の生徒向けのプログラム／再チャレンジ層向けのプログラム作成 ② 専属のソーシャルワーカーの採用 ③ 児童福祉・学校関係者向け説明会／報告会の実施 ④ 他事業との連携も視野に入れながらより子どもたちが使いやすい環境に近づけていく		<b>■ 活動風景</b>				
	<b>■ 活動報告</b> 大学全入時代という中で、児童養護施設出身者の大卒率はわずか4%となっており、15歳以上の高齢児のみを預かる自立援助ホームにおいては8割が中卒以下という深刻な状況です。 また、虐待の発見数の増加に対して、施設をはじめとした社会的養護の受け皿は不足しており、施設に入所すらできない子どもたちもたくさんいます。さらに、施設入所中よりも退所後の方が進学率が悪く、また中退なども多い現状があります。 一方で、各地域に広がる「無料塾」をはじめ、現在の学習支援の多くは支援対象者が義務教育以下か、生活保護受給者などと限定されており、15歳以上の子どもたちや生活保護受給者などに該当しない子どもたちが利用できるものは非常に限られています。 本事業は、そのような15歳～22歳の子どもを対象とした無料の学習場所の提供をしています。子どもそれぞれが自分の好きな時に利用することができ、やりたい勉強を持ってきて自習や質問をすることができる場所になっています。今年度からは食事提供もスタートし、希望すれば食事も取れるようになりました。	<b>■ 1年間の目標に対する達成状況</b> 本事業をスタートした当初から一番の課題だと想定していた集客がやはり想定以上に難しく、利用者増や定期的な利用という面で予定通りにはいかなかったものの、SNS広告を安定して運用できるようになりました。そのため大人経由でなく子どもに直接的に継続してこの場所の存在を知らせるノウハウが得られてきたと感じます。 また、安心して利用できる環境を整備するという意味でソーシャルワーカーの採用も目標の一つとしていたが、社会的にそのような専門家が必要とされてきている中で、経験やスキルのある人材を採用するのは難しく、長期的なスパンで採用活動を進めていく必要があると感じます。 一方で、利用者が想定よりも増えなかったため当法人主催の説明会は実施することができなかったものの、児童福祉関係者の集まる委員会で月に一度の頻度で4ヶ月間ほど、昨年度の報告や新しく追加した食事提供などについてお知らせすることができました。この会には今後も定期的に参加し、報告や共有する時間をいただき情報発信をしていこうと考えています。	今年度新しくスタートした食事提供の様子（毎回2-3品程度の提供）  問い合わせ方法として新しく追加したLINE@  COSTAのLINEを友達追加している方に定期的に配信しているメッセージの一例	 写真2 			
<b>■ 1年間の活動のまとめ</b> 今年度は、2017年度の経験を生かし、さらなる利用者増と利用者の定期的な利用を目標の一つとして活動してきました。そのための対策として、告知方法の見直しや問い合わせ方法の追加、食事提供機能の追加などを行いました。 告知方法は継続して毎月一定以上のアクセス数を確保することができているため、今後は問い合わせにまで安定して繋がれるような方法を引き続き模索していきます。 また、子どものサポートの面では、勉強以外のサポートが必要なケースが多く、他機関・他部署などとの密な連携が重要だと改めて感じました。	<b>■ 事業を通じて得られたノウハウ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● LINE@機能 今年度からLINE@を活用した問い合わせ対応も追加したことにより、子どもからの問い合わせは昨年度に比べ増加しました。LINEでのやりとりは顔が見えないため、対面でのコミュニケーション以上に言葉選びや伝え方に気をつける必要があると感じます。</li> <li>● 食事提供 まだ定期的に食事を取る利用者は少ないものの、利用者からはポジティブな感想をもらっています。現在は主に専従職員で対応しているため、今後はボランティアスタッフなどとも協力し、継続して提供できる仕組みを作っていけたらと思っています。</li> </ul>	<b>■ 実施した人材育成策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 他機関、他部署などと連携する必要があったことで、外部（大人）と情報共有を行いつつ利用者（子ども）と向き合う、バランス感覚が養われる機会が多かったです。</li> <li>● 利用者のニーズは様々なため、例えば高卒認定試験や通信制高校の課題の仕組み、奨学金など多様な課題に詳しくないとサポートできないことから、必然的に知識量が増えた。</li> </ul>	<b>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</b> <table border="1" data-bbox="1569 1182 2381 1296"> <tr> <td data-bbox="1569 1182 1740 1296">この1年間の活動を通じて</td> <td data-bbox="1740 1182 2210 1296">食事提供とLINE問い合わせ開始</td> <td data-bbox="2210 1182 2381 1296">を達成しました。</td> </tr> </table> <b>■ 受益者の変化（効果測定結果等）</b> 今年度から、勉強だけでは本事業を利用するモチベーションが保てない子どもでもできるだけ利用しやすくなるように、食事提供をスタートしました。希望すれば無料で食事を取ることができるので、勉強に疲れたタイミングで食べることができます。 今後は、もっとメニューを増やしたり、栄養バランスなどの面でも工夫していけたらと思っています。 また、これまで問い合わせはメールのみだったところを、対象の子どもにとってより身近だと考えられるLINEでもできるように追加しました。やはりLINEの方が問い合わせ数や返信率も高いため、気軽に問い合わせがしやすいように工夫できているのではないかと感じています。 今後も引き続き、実際にお問い合わせいただいた方が本事業に来てもらえるよう、工夫していくこととします。		この1年間の活動を通じて	食事提供とLINE問い合わせ開始	を達成しました。
この1年間の活動を通じて	食事提供とLINE問い合わせ開始	を達成しました。					